

赤十字へのご支援・ご協力 ありがとうございます

県内市町村の日赤事務局を通じてお寄せいただいた活動資金の募集状況及び令和5年度の主な活動を報告します。
いのちをつなぐ9つの赤十字事業のうち、医療事業・血液事業・社会福祉事業は除きます。

令和6年度日赤活動資金の募集状況（令和6年9月末日）

募集実績額（見込） **228,216千円**

募集目標額 280,000千円

（参考：令和5年度実績額 238,975千円）



令和5年度 皆さまからのご寄付で実施した主な活動と収支決算

※ 各詳細は「令和5年度事業報告」に掲載しています。



○令和6年能登半島地震災害の対応

被災地の日赤石川県支部等と連携して、発災直後から被災地域へ医療救護班等を派遣し、災害救護活動を実施しました。

医療救護班の派遣（DMAT含む）：17班、救援物資の搬送・配布：毛布を県内倉庫から穴水町へ1,750枚

○赤十字講習会等の実施

いのちと健康を守る知識や技術に役立つ講習会を各地で開催し、多くの皆さまが受講されました。

救急法等の講習：732回・15,996人、防災セミナー：69回・3,031人

○災害救護資機材等の整備

今後起こり得る大規模災害に備えて、県内の赤十字施設に整備しました。

簡易ベッド（折畳寝台）：85台、救護員作業衣一式：326セット、ヘッドライト：180個

令和5年度 決算報告

収入

収入合計 **308,258千円**

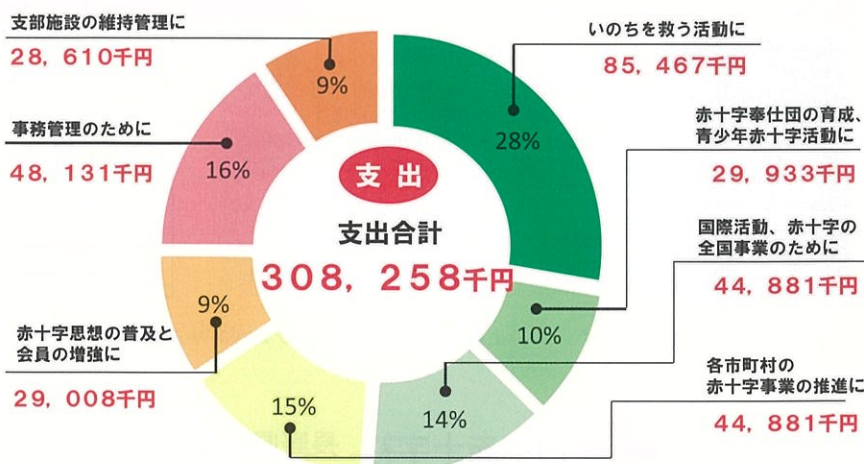
内訳

個人からの活動資金	261,602千円
法人からの活動資金	17,424千円
委託金及び交付金収入	3,134千円
資金繰入金	76千円
資産収入及び雑収入	14,416千円
前年度繰越金	11,606千円

※ 繰入・繰出ともに災害義援金預り金等は除いています。

支出

支出合計 **308,258千円**



災害に備えるのは、**平時から**



今年、気象庁より南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発表されましたが、大規模災害や近年多発している自然災害から人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「**自助**」「**共助**」のチカラを高める防災教育が極めて重要となっています。

えっ!! 避難所の運営には地域の住民が携わる?

避難所って どんなところ??

- 多くの避難者と**共同生活**
- 食料や衣料など生活に必要なものが**不足**する
- プライバシーが**確保されない**
- 掃除が**行き届かない**
- トイレの数が**足りない**
- エアコンなどの空調が**整っていない**
- 入浴の機会が**限られる**



住民による

避難所に届く支援物資の管理や配布、ごみ処理や掃除といった役割など、被災者自身で分担することは珍しくありません。その避難所生活で、特に重要になるのは衛生面の管理です。例えば、避難所のトイレは多くの人が利用し続ける中で問題が生じやすく、気づいた時は使えない状態も。また、寝る場所や食事なども、同じ空間で生活するため、衛生に対する意識を持って行動することが、避難所内での病気や感染症のまん延を防ぐポイントです。

町内会や学校で「赤十字防災セミナー」の開催をオススメします。



オススメ① 避難所体験ゲーム

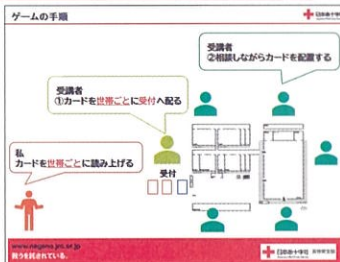
～避難所の課題を知り、避難者目線で理解を深めるために～

内容

避難所運営の一員として、避難者の受け入れから部屋割り、トイレ問題などを机上模擬体験します。実際の避難所も住民の共同が大切となります。グループ内で参加者がそれぞれが意見を出し、主体的に取り組む内容になっています。

時間

90分から



オススメ② 災害への備え

～身近に起こり得る災害の知識を深め、災害に備えるために～

内容

様々な被害から命を守り、その後の暮らしをつなぐために、平時から備えることの重要性を講義形式でお伝えします。①地震編②大雨・土砂災害編③感染症編があり、自分自身や地域でできることを考えていただくことを目的としています。

時間

65分
全編（地震、大雨・土砂災害、感染症）の場合



「赤十字防災セミナー」の上記のほかにもプログラムがあります。詳細及び申込み方法は、当支部ホームページをご覧ください。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

長野県支部

長野市南県町1074

TEL:026-226-2073

日赤長野県支部 検索

